しんちゃくとしょあんない

新着図書案内

2020.6　松阪商業高校図書館

お休みの日が続いていましたが、久しぶりの学校はどうですか?
図書館にも新刊がたくさん届いています。
気持ちに余裕ができたら、手にとってみて下さいね。

お休みの前に借りた本は、いったん返却、または延長手続きをしましょう!

新着図書から

シンプルな手作りスープのレシピは、身近な材料で短時間で作れそうなものばかり。心も身体もほっこりしそうなスープ弁当は、季節を問わず重宝しそうです。

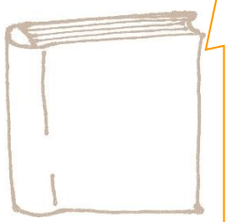
『朝10分でできるスープ弁当』
有賀薫著、マガジンハウス、2019

生きていくうえで直面する問題や課題をどうとらえていくか。ここでは、著者が最新の心理学研究の結果を通して「思考の道具箱」として使用してきた「52の思考法」を紹介しています。

『Think clearly 最新の学術研究から導いたよりよい人生を送るための思考法』
ロルフ・ドベリ著、安原実津訳、サンマーク出版、2019

ワニの最後の１００日間を描いた４コママンガ。Twitterで話題となり、書籍化されました。死ぬなんて思ってもみなかったワニの平和な日常から、私たちが受け取るメッセージとは?

『100日後に死ぬワニ』
きくちゆうき著、小学館、2020



周りの人が気づかない小さな変化を感じ取ることのできる「生まれつき繊細な人」が５人に１人の割合で存在するそうです。特徴は「感じる力が強い」こと。毎日ヘトヘトになってしまう人が、ラクに生きる技術を紹介した実用書です。

『「繊細さん」の本』武田友紀著、飛鳥新社、2018

新人看護師さんの等身大のイラストエッセイ。実話をもとにした「おまもり」のようなエピソードが胸に響きます。看護師さんのお仕事の偉大さがよくわかります。

『病院というヘンテコな場所が教えてくれたコト』
仲本りさ著、いろは出版、2018

山形、韓国、イタリア、南仏、ドイツ、バルト三国、インドなど、各地で出会った美味しいものが登場する旅のエッセイです。旅人の気持ちになれる一冊です。

『旅ごはん』小川糸著、白泉社、2020

シェイクスピアが紡いだ名文句を集めています。気になったページをどこからでも読むことができます。４００年以上も前に紡がれた言葉だとは思えないほど、今も古さを感じさせません。

『心を支えるシェイクスピアの言葉』河合祥一郎著
あさ出版、2020

ほぼ20年間絶縁状態となっていた父の死後、父との関係、父の青春の日々をたどってみると……。戦争というものが、ひとりの人間の生き方や精神に与える影響の大きさについて考えます。

『猫を棄てる』村上春樹著、文藝春秋、2020

図書館特集コーナー

お家時間を楽しむ本

～あんなことも、こんなこともできるかも!?